

4. 維持管理・更新の時代

安定したライフラインの確保と持続可能な水道事業を実現するため、拡張事業から整備事業に切り替え、現在は第8次整備事業を進めています。

第7次整備事業(H22～R1年度)

- ◆施設、管路の耐震化
- ◆九頭竜第1配水池
- ◆九頭竜送水ポンプ場更新

第8次整備事業(R2～R10年度)

- ◆施設、管路の耐震化
- ◆九頭竜浄水場 浄水施設更新
- ◆原目配水池更新



九頭竜第1配水池

～水道を未来へつなぐために～

安全・安心な水道水を守り続けるために！
水質管理体制を強化し、水質検査の充実を図ります。

災害に強い水道を目指して！

水道施設や、重要給水施設（災害拠点病院や避難所）までの水道管を優先して耐震化を図ります。また、災害を想定した訓練などを実施し、対応能力を向上させるとともに、日本水道協会や近隣の市町との連携を強化します。



水道管の更新工事



水質検査

持続可能な水道事業のために！

お客様サービスの向上や、経営基盤の強化、技術の継承にも力を注ぎます。



上下水お客様センター

「数字で見る現在の福井市水道」 (令和6年3月末時点)

給水人口	249,334人
給水栓数 (水メーターの数)	108,740栓
年間配水量	32,724,106m ³
水道管の長さ	約2,100km



大正13年(1924)に給水を開始した福井市の水道事業は、おかげさまで令和6年(2024)に100周年を迎えました。
次の100年も、安全で安心な水道水をお届けできるよう、「信頼に応える水づくり」に取り組んでいきます。

おいしい水は福いいネ！
～これからも守り続ける日常～

100
福

福井市水道100周年

since 1924-2024



福井市水道マスコット
アクアちゃん

福井市上下水道局
FUKUI CITY WATERWORKS & SEWERAGE BUREAU



福井市水道記念館



九頭竜川鳴鹿大堰



九頭竜浄水場



森田配水塔マイアック

福井市水道100年のあゆみ

こうして、
水道の施設がどんどん
増えていったのね！



1. 福井市水道のはじまり

福井市は古くから火災が多いまちでした。また、感染症の流行でたくさんの人が亡くなることもありました。

そこで、当時の福井市長 山品捨録氏は、福井市の将来の発展のためには水道の整備がすぐに必要だ！と考え、調査と準備を進め、木田村一本木地区に地下水を求めことに決定しました。

一本木浄水場で汲み上げた地下水を、足羽山の上にある配水池に揚げ市内に配ったのが、福井市水道のはじまりです。給水開始は大正13年(1924)9月のことでした。



旧足羽揚水ポンプ場(現水道記念館)



大正13年から平成3年まで活躍した大型モーターポンプ

大正時代に、こんなに大きなポンプがあったなんて驚きだね！足羽揚水ポンプ場は現在、水道記念館として公開されていて大型ポンプも見学できるよ！



藩政初期の水道管

2. 戦災と震災を乗り越えて

昭和20年7月、福井空襲でまちの95%が焼け野原になり、水道の施設も大きな被害を受け、漏水率が約70%となりました。戦災による配水管漏水箇所の修理と各戸給水装置の復旧が約60%終わったころの昭和23年6月、福井で大地震が発生しました。水道施設は再び徹底的に破壊され、給水機能は一瞬にして停止してしまいました。それでも、国・県・近隣のまちから応援を受け、その後復旧事業を進めてこの危機を乗り越えました。

戦災からの復旧工事中に大地震だなんて…！
とっても大変だったよね…



焦土と化した福井市街



配水管の損壊(幸橋北詰)

3. 拡張の時代

急激な人口の増加、近村の合併による市域の拡大、生活様式の変化、産業の発展などにより、水道水がますます求められるようになりました。そこで給水量を増やすため、拡張事業を進めました。

第1次拡張事業(S25～S29年度)

丸山水源井・丸山配水池



丸山配水池

第2次拡張事業(S31～S34年度)

一本木水源井・丸山水源井



昭和30～40年の工事風景

第3次拡張事業(S35～S41年度)

九頭竜水源井・原目配水池



原目配水池

第4次拡張事業(S44～S61年度)

九頭竜水源井
九頭竜浄水施設
一本木浄水施設
九頭竜第2配水池
九頭竜管理センター



九頭竜浄水場

第5次計画事業(S62～H6年度)

九頭竜水源井
丸山浄水場
田治島浄水場
杉谷配水池



田治島浄水場

第6次拡張事業(H7～H21年度)

管理棟(九頭竜管理センター)
国見揚・配水ポンプ所
森田浄水場・配水塔
川西南揚水ポンプ所・配水池
燈豊揚水ポンプ所・配水池



森田浄水場 森田配水塔(マイアック)

福井市水道年表

大正7年	調査実施
大正8年	地下水を水源として計画 市議会で水道布設案を可決
大正10年	上水道布設認可
大正13年	給水開始
昭和20年	福井空襲で大きな被害 終戦復旧工事の着工
昭和23年	福井地震で大きな被害
昭和24年	震災復旧工事
昭和25年	第1次拡張事業着工

昭和27年	ポンプ直送による配水開始 地方公営企業法公布で水道事業が適用
昭和31年	第2次拡張事業着工
昭和35年	第3次拡張事業着工
昭和38年	九頭竜水源からポンプ圧送で給水開始
昭和42年	原目配水池完成
昭和44年	第4次拡張事業着工
昭和47年	九頭竜管理センター完成
昭和48年	福井市水道50周年
昭和49年	表流水の水源開発
昭和62年	第5次計画事業着工 川西広域簡易水道を上水道に統合

平成4年	丸山浄水場完成
平成6年	田治島浄水場完成
平成7年	第6次拡張事業着工
平成8年	川西南配水池・揚水ポンプ所完成
平成11年	旧足羽揚水ポンプ場保存工事完了
平成12年	国見揚・配水ポンプ所完成
平成13年	燈豊町揚水ポンプ所完成
平成16年	福井市水道記念館オープン
平成17年	水道料金コンビニ収納開始
平成20年	森田浄水場・森田配水塔完成
平成21年	福井市水道ビジョン策定
平成22年	第7次整備事業着工

平成23年	九頭竜浄水場中央監視制御設備更新 水道記念館リニューアルオープン
平成26年	ふくいおもてな水販売開始
平成27年	「Web 口座振替受付サービス」開始
平成29年	九頭竜浄水場送水ポンプ場更新 九頭竜第1配水池完成
令和2年	福井市水道事業ビジョン2020策定 第8次整備事業着工 企業局と下水道部が統合
令和6年	「電子決済支払いサービス」開始 企業局から上下水道局に名称変更 福井市水道100周年